

三宅島における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Miyakejima Volcano

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

気象庁地震火山部火山課火山監視・情報センター

Volcanic Observations and Information Center, Volcanological Division, JMA

三宅島における2013年5月までの地磁気全磁力変化について報告する。

第1図に、三宅島における全磁力連続観測点の位置を示す。第2図に、雄山北東(参照点)の全磁力値を基準とした三宅島の各観測点の全磁力差を示す。第2図中の両矢印は黒潮の流軸が三宅島に接近している期間で、海流の影響で新濤池跡2や村宮牧場南3などの全磁力が増加したと見られる。三宅島から黒潮の流軸までの距離は海洋速報(海上保安庁)を参照している。

地磁気全磁力変化からは年周変化・黒潮等の影響が見られるが、期間中変化傾向に変わりは見られず、特段有意な変化は観測されなかった。また、2013年4月17日17時57分頃の三宅島近海の地震(マグニチュード6.2)の前後でも、特段の全磁力変化は確認されなかった。

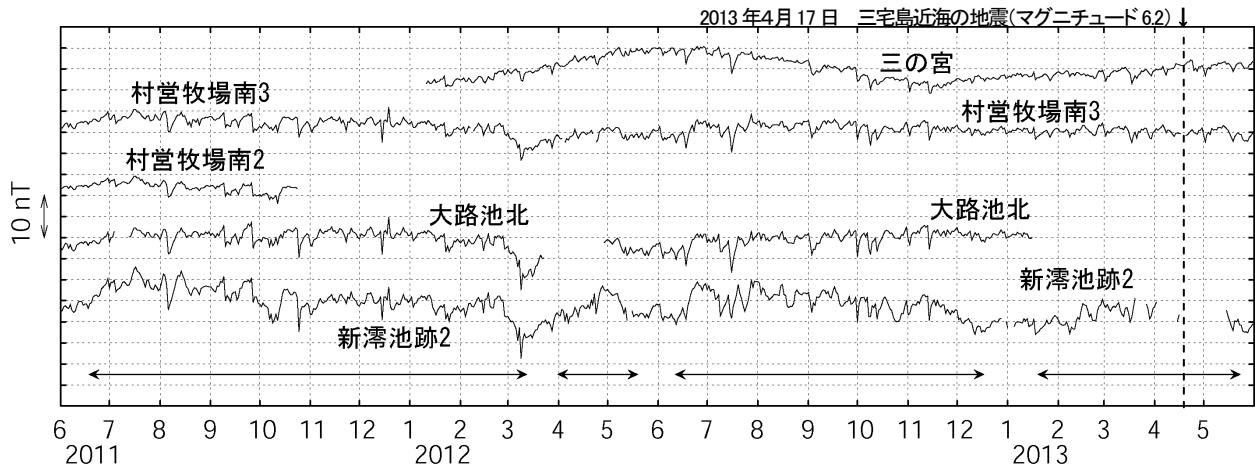


第1図 全磁力観測点配置図 (●: 気象庁、○: 気象庁(観測終了))

等高線は10m間隔。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図10mメッシュ(火山標高)』を使用した。(承認番号 平23情使、第467号)

Fig.1 Location map of geomagnetic total intensity observation stations (●: JMA stations, ○: JMA discontinued stations).

* 2013年7月11日受付



第2図 気象庁観測点の全磁力値と雄山北東(参照点)の全磁力値の日平均差(2011年6月~2013年5月)

Fig.2 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the JMA stations referred to the station Oyama-hokutoh (from June 2011 to May 2013).